

株主通信「イードプレス」

●
i i d
Press

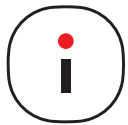
We are the User Experience Company.



第23期

2022年6月期 (2021.7.1 ~ 2021.12.31)

上半期報告書



株主の皆さまへ TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年6月期上半期も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、広告需要が比較的安定的に推移したことや、期首に複数ネットショップの一元管理サービス「TEMPOSTAR」を提供するSAVAWAY株式会社を連結子会社化したことなどにより、連結売上高は2,714百万円、新収益認識適用前では2,890百万円で前期比増、営業利益は355百万円で前期比約1.5倍の大幅増となりました。

2022年6月期は、メディアのネットワークを活かした新規ビジネス開発にも積極的に取り組んでおり、当社初のゲームパブリッシングとして、「Game*Spark」のブランドにて『ウィザードリィ外伝 五つの試練』Steam版の早期アクセス配信を日本国内向けに開始しました。またシャープマーケティングジャパン株式会社と連携し、全国のコンビニエンスストアに設置されているシャープ製マルチコピー機で、多彩なコンテンツをプリントできる「エンタメプリント」のサービスを開始しております。

M&A関連では、EC事業領域の強化を目的としたSAVAWAYの子会社化のほか、進学相談イベントを展開する株式会社リンクの子会社化による教育関連市場に向けたビジネスの強化など、コロナ禍においても引き続き積極的な戦略投資を行っております。

私たちイードグループは、インターネットがWeb3.0へと進化し、誰もがメディアを作る世界になる中で、クリエイターエコノミーカンパニーを目指すとともに、2026年6月期に売上高100億円、EBITDA12億円の中期目標を掲げ、グループ一丸となり、その実現に向け邁進してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

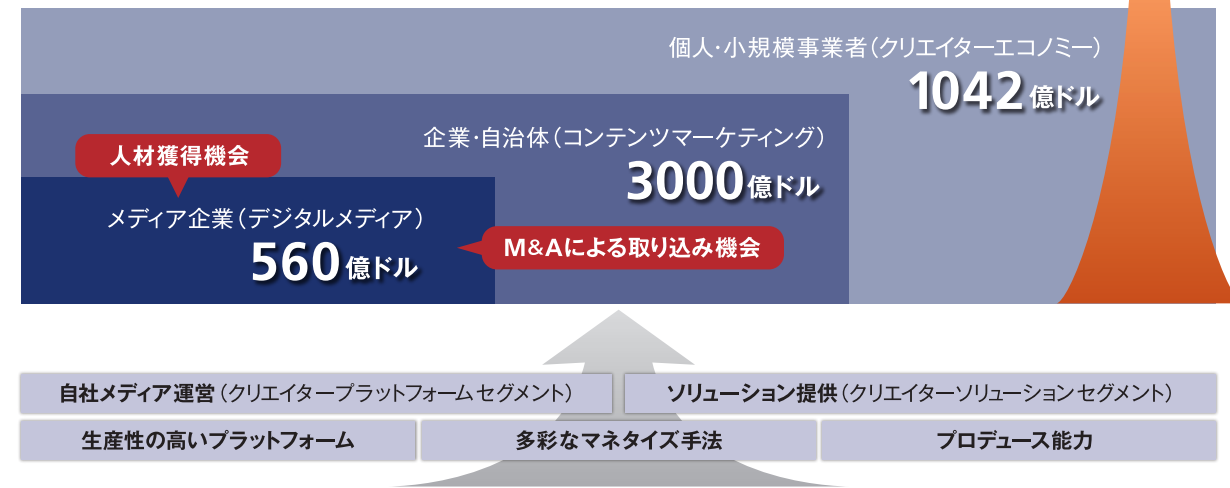
株主・投資家の皆さまへ	1	特集	5
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2022年上半期 業績ハイライト	3		

クリエイターエコノミーカンパニーへ

インターネットがWeb3.0に進化し、誰もがメディアになり、誰もがメディアを作る世界が到来しています。イードは、プラットフォームとソリューションを通じて、誰もがメディア（発信者）となり生きていくクリエイターエコノミーの世界をサポートしてまいります。

Creator Economy Company

市場参加者が増え拡大するメディア市場において 成長機会を追求します



各数値は世界市場のものです

デジタルメディアの市場規模予測（2021年）

<https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/digital-publishing-global-market-report-2020-30-covid-19-implications-and-growth>

コンテンツマーケティングの市場規模（2020年）

<https://www.businesswire.com/news/home/20210126005925/en/Global-Content-Marketing-Market-Trajectory-Analytics-Report-2020-2027-Lead-Generation-is-Projected-to-Account-for-US295.1-Billion-of-the-Total-829.6-Billion-Industry---ResearchAndMarkets.com>

クリエイターエコノミーの市場規模予測（2021年）

<https://influencermarketinghub.com/creator-earnings-benchmark-report/>

2022年上半期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は堅調に推移
- ・連結の営業利益は前年同期の約1.5倍と大幅増

連 結

	上半期	前年同期	前期比
売上高	2,714	—	—
売上高 ※新収益認識適用前	2,890	2,829	102%
営業利益	355	238	149%
営業利益率	13.1%	8.4%	—

(注1) 当期2Qより、事業セグメントの名称を以下のとおり変更しました。

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業） → クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）
コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業） → クリエイターソリューション事業（CS事業）

(注2) 当期2022年6月期から新収益認識会計基準を適用。適用前後で影響のある科目については前期比を記載していません。

C P

	上半期	前年同期	前期比
売上高	2,372	—	—
売上高 ※新収益認識適用前	2,547	2,491	102%
営業利益	273	213	129%
営業利益率	11.5%	8.6%	—

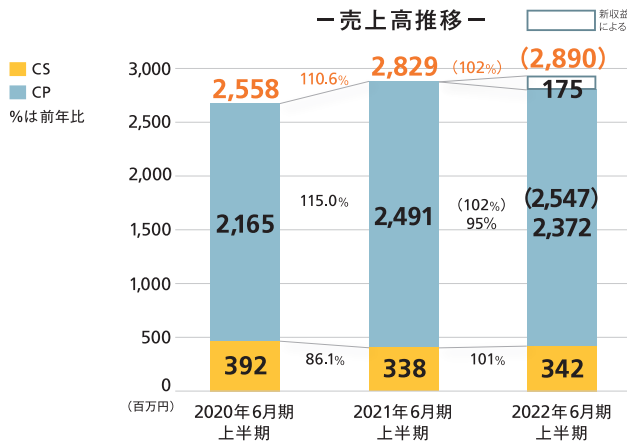
C S

	上半期	前年同期	前期比
売上高	342	338	101%
営業利益	81	25	325%
営業利益率	23.8%	7.4%	+16.4pt

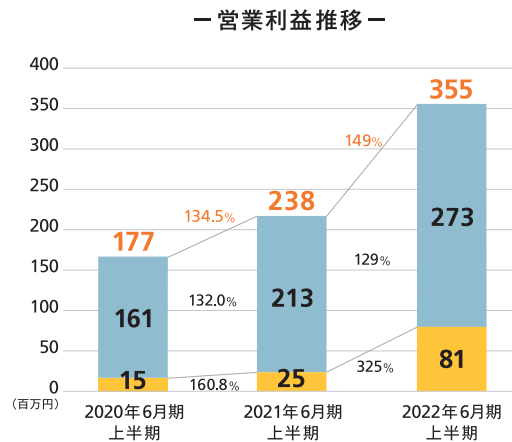
(百万円)

2022年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CP事業の売上高は新収益認識前(前年同期準)では堅調に推移、営業利益も前期比129%で順調に拡大
- ・CS事業の売上高も堅調、営業利益は前期比325%と大幅伸長



(注) 2022年6月期は新収益認識適用後、ただし()内は新収益認識適用前の場合



2022年上半期 経営成績と事業概況

- ・営業利益および経常利益は前年同期の約1.5倍
- ・前年同期の当期純利益は絵本ナビの株式売却益等の影響

当上半期の売上高は2,714百万円、新収益認識適用前では2,890百万円(前期比102%増)、営業利益は355百万円(前期比149%増)、通常利益は349百万円(前期比164%増)、当期純利益は242百万円(前期比66%減)となりました。

CP事業では、引き続き当上半期においても、緊急事態宣言発出など新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、広告需要は比較的安定的に推移し、ネット広告売上は、新収益認識適用前で1,021百万円(前期比114%増)となりました。

また当期の期首に、複数ECショップ管理システム「TEMPOSTAR」を提供するSAVAWAY株式会社の全株式取得により連結の範囲に含めたことで、システム売上は345百万円(前期比118%増)と大きく増加しました。

CS事業では、リサーチソリューションが新型コロナウイルス感染症の影響からは概ね脱し、前期比で売上高は減少するも、営業利益は大きく増加しました。また、ECソリューションも、粗利率の高い大型案件の受注が重なり、前期比で売上高、営業利益ともに大きく増加しました。

2022年上半期 貸借対照表

- ・当期純利益の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、純資産も170百万円増加

当上半期における総資産は4,861百万円(前期末比137百万円増)となりました。主な増減は、現金及び預金の減少144百万円、受取手形及び売掛金の増加233百万円であります。

負債総額は1,242百万円(前期末比33百万円減少)となりました。主な増減は、未払法人税等の支払による減少61百万円であります。

純資産合計は3,618百万円(前期末比170百万円増加)となりました。主な増減は、利益剰余金の増加242百万円、自己株式の取得等による減少74百万円となります。

	上半期	前年同期	前期比	通期予想	進捗
売上高	2,714	—	—	5,700	48%
売上高 ※新収益認識適用前	2,890	2,829	102%	—	—
営業利益	355	238	149%	530	67%
経常利益	349	213	164%	530	66%
当期純利益	242	366	66%	350	69%

(注1) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(注2) 当期2022年6月期から新収益認識会計基準を適用。

適用前後で影響のある科目については数値を記載していません。

(百万円)

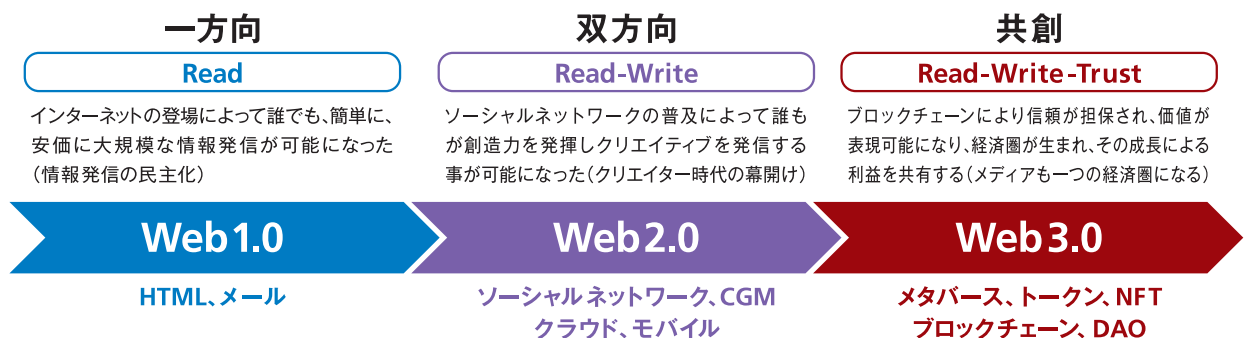
	2022年6月期 上半期末	2021年6月期 期末	前期末比 増減額
流動資産	4,049	3,918	+131
固定資産	812	805	+7
資産合計	4,861	4,724	+137
流動負債	912	922	▲10
固定負債	330	353	▲23
負債合計	1,242	1,275	▲33
株主資本	3,550	3,385	+165
利益剰余金	1,881	1,639	+242
自己株式	▲103	▲29	▲74
純資産	3,618	3,448	+170
負債・純資産	4,861	4,724	+137

(注) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

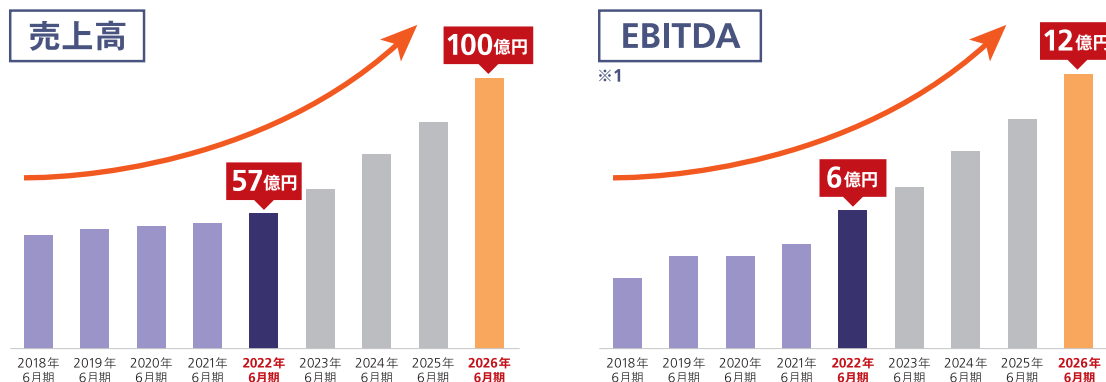
(百万円)

中期目標について

イードは、Web3.0の流れの中で成長するクリエイターエコノミー市場を確実に取り込み、中期での業績目標達成とクリエイターエコノミーカンパニーの実現に向けて取り組んでまいります。



クリエイタープラットフォーム(旧CMP)事業を中心に積み上げ式の成長で、2026年6月期で売上高100億円、EBITDA12億円を目指します。

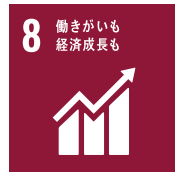


※1：EBITDA＝営業利益＋のれん償却費＋減価償却費

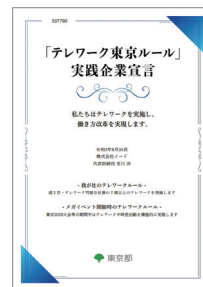
ESG/SDGsへの取り組み

イードは、メディアとマーケティングリサーチを通じて社会的意義のある企業活動を目指します。また、コロナ禍において働き方を常にアップデート、環境変化にも柔軟に対応し、従業員の安全確保と業績向上の両立を図っています。

社会



- ・2021年8月に東京都が提唱する「テレワーク東京ルール」実践企業に認定されました。
- ・テレワーク実施率は現在80～90%を継続しています。



- ・教育情報メディア「リセマム」を通じて多くの方が公平に教育関連情報が得られるようにするとともに、法人向けメディア「リシード」により教育業界の発展にも寄与します。



- ・クラウドサービス導入による経費精算、契約、採用業務などのペーパーレス化により、業務効率化と紙資源の節約に努めています。

環境



- ・「e燃費」サービスを通じてドライバーの燃費向上を図り、エコドライブのサポートによりエネルギーの節約と安全運転の推進に寄与します。



- ・カーボンニュートラルに関する企業動向や、電気自動車の受容性など、環境問題に直結する調査を定期的に行い、調査レポートの報告を行っております。

ガバナンス



- ・取締役4名のうち社外取締役を2名、監査役3名のうち社外監査役を2名の体制とし、企業経営に関わる重要事項の審議等において公正に対処しております。



メディアのネットワークを活かした新規ビジネス開発と「iid 5G Mobility」の取り組みについて

3DダンジョンRPG

『ウィザードリィ外伝 五つの試練』
が売上1位に



Game*Spark Publishingブランドにて3DダンジョンRPG『ウィザードリィ外伝 五つの試練』を昨年12月に世界的なゲームプラットフォームSteamで配信開始、日本国内のランキングで1位を獲得し、発売から10日あまりで1万本を販売しました。今後も継続的なアップデートなどの新展開を予定しています。



「バーチャルキー」

レンタカー事業者との提携拡大、
非接触・非対面により
無人貸出サービスの普及に貢献



「iid 5G Mobility」の取り組みの一環として株式会社ジゴワッツと共同開発した、スマートフォンをクルマの鍵として使える「バーチャルキー」は、着実に利用範囲を広げており、現在ではレンタカー事業者との提携が増えています。



ガーデュのレンタカー運用/
管理システム「RAC+」との連
携によるレンタカーサービス
「+FistDrive」



JR西日本レンタカー&リ
ースが提供する無人レン
タカーサービス「スマート
駅レンタカー」



グループ会社の取り組みについて

専門性を活かした事業領域でビジネスを拡大



エンファクトリーの越境型研修サービス
「複業留学」の導入広がる

越境型研修サービス

複業留学

「複業留学」は2020年7月にサービス提供を開始して以降、従業員の人材育成や成長機会の提供などを目的とした研修制度として、大手企業を中心に導入先を増やし、現在導入企業(送手企業)は20社以上、受入企業は120社に拡大しています。



「Teamlancerエンタープライズ」が
大手企業で活用広がる

自主性を促し変化に強い組織をつくるコミュニケーションプラットフォーム「Teamlancerエンタープライズ」が、三井住友海上、ニフコなど大手企業で採用が広がっています。「複業留学」の情報共有ツールとしても活用されており、個から組織へ波及する人材育成に貢献しています。

進学相談イベントを展開するリンクの全株式を取得し子会社化



東京、神奈川を中心に、私立小学校・中学校・高等学校を中心とする進学相談イベントを展開する株式会社リンクの全株式を取得し子会社化。イードが運営する教育情報サイト「リセマム(保護者向け)」「リシード(教育関係者向け)」との連携により、進路情報をリアルとオンライン、紙媒体とWeb媒体で全方位から発信していきます。



※2021年に開催した進学相談イベント会場の様子。
分散来場型時間帯別完全予約制により新型コロナウイルス対策を徹底しています。



会社概要

会 社 名 株式会社イード（IID, Inc.）
設 立 2000年4月28日
所 在 地 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー17階
資 本 金 883,053千円
事 業 内 容 メディア事業／リサーチ事業／メディアコマース事業
従 業 員 数 単体149名／連結236名
子 会 社 株式会社エンファクトリー
株式会社ネットショップ総研
マイケル株式会社
SAVAWAY株式会社
株式会社リンク
持分法適用 株式会社絵本ナビ
SODA株式会社

役 員

代 表 取 締 役 宮 川 洋
取 締 役 須 田 亨
取 締 役 ○ 大 和 田 廣 樹 （株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取 締 役 ○ 吉 崎 浩 一 郎 （株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監 査 役 山 中 純 雄
監 査 役 ○ 安 達 美 雄
監 査 役 ○ 藤 山 剛 （株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○ = 社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 5,026,400株
株主数 2,136名

■大株主の順位			
順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.40%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.55%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.15%
4	株式会社SBI証券	251,515	5.12%
5	株式会社ティーガイア	250,000	5.09%
5	株式会社ボブラ社	250,000	5.09%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.08%
8	宮川 洋	169,700	3.46%
9	日本証券金融株式会社	115,700	2.36%
10	中坊 勇太	114,800	2.34%

（注1）2021年12月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。
（注2）当社は、2021年12月31日時点で自己株式118,493株を保有しており、
持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上 場 市 場 東京証券取引所マザーズ
※2022年4月4日より、東京証券取引所グロース市場に移行しました。
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主通信「イードプレス」

iid
Press

We are the User Experience Company.



第23期

2022年6月期（2021.7.1～2021.12.31）

上半期報告書

株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>